

お陰様で無事、卒業式を終えることができました。

本日、午前中に卒業証書授与式を無事終えることができました。午後には県立高校の一般入試の合格発表があります。コロナウィルスのために、臨時休校や部活動の最後の大会が中止になるなど、これまでにない大変な一年間であったにもかかわらず、感染予防に細心の注意をはらいながら、様々な場面で工夫をこらし、できる形でできるだけのことをやってきてくれた67名の卒業生たち、この生徒達の未来に幸多いことを祈ります。それでは、今年一年間の数々の成果をふり返り、卒業生への感謝の気持ちを込めた本日の学校長式辞を載せさせていただきます。

(式辞)

六十七名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんは、長い三方中学校の歴史の中でも、今まで誰も経験したことのない一年を送ってきました。

新型コロナウイルス感染予防のために、三月から突然休校となり、六月にやっと再開できましたが、休みも短くなり、修学旅行は東京に行けず、部活動の最後の大会は中止になり、体育大会も制限がかかるという大変な一年でした。

私も、行事が変更になるたびに、みなさんにどう説明すればよいのか、どうしたら気持ちを切り替えて頑張ってもらえるのか、毎回悩んでいました。でもそんなくり返しやって来るピンチを、いつも救ってくれたのも、みなさんでした。

新チームになって以来、期待していた各部の最後の大会ができなくなったときには、『コンクールが中止になったと聞いて頭の中が真っ白になりました。でも、今できることを全力でやろうとの友達の言葉に救われました。今を全力で楽しみ、最後は笑顔で終わりたいと思います。』と言ってくれ、実際に素晴らしい演奏で締めくくってくれました。

伝統の体育大会がいつもどおりができなくなったときには、『制限されているからこそ楽しもうというみんなの思いから、いろいろ考えてとても良い作品ができたし一番楽しかった体育大会になったと思います。』の言葉どおり、平面、パフォーマンスとも実によく工夫されて、三色とも粒ぞろいの素晴らしいものに仕上げてくれました。

みなさんが楽しみにしていた修学旅行は、十月まで延期したものの、東京どころか県外へ行くのも難しくなり、最終的に県内で二日間の日程になりました。そんな中でも皆さんは『正直、福井県内で楽しめるか不安でした。でも、どこへ行っただけではなくてみんなと一緒に行くということが大事だということがよくわかりました。一つ一つの場所が大切な思い出になりました。』と、涙がでるような感想を寄せてくれました。

このように、どんな困難なときでも、行事の本質に目を向けながら、いつも前向きに取り組んでくれたみなさんに、心から感謝いたします。

他にも、ふるさとの良いところを再発見し、磨きをかけ、地域社会に貢献するための三方学、MIKATA Researchを始め、そして軌道に乗せてくれたのもみなさんです。

合唱コンクールでは、自由曲一曲に、想いとハーモニーを凝縮させ、聞く人みんなに大きな感動を与えてくれたのもみなさんです。

このように、みなさんは、苦難の一年間を通して、大きな成果、いくつもの財産を、この三方中学校に残してくれました。

私は、みなさんが、これから、たとえ制約された条件のもとにあっても、いつも、ベストを尽くし、楽しみを見だし、新しいものを生み出して行ってくれることを期待しています。そんなみなさんの姿をとても楽しみにしています。どうかこれからも、健康第一、安全第一で、豊かな人生を歩んでください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。お子様がここまで立派に成長されたことを心からお慶び申し上げます。

また、本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆様方にも、これからのふるさとや社会を担ってくれる生徒たちの成長を、今後とも見守っていただきますよう、お願いを申し上げ、式辞といたします。

